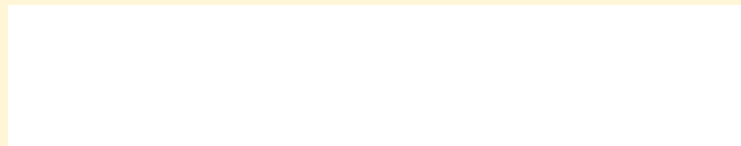


ご自分の判断でパナルジンの服用をおやめになりますと、病気が悪化したり、再発したりする危険性がありますので、医師の指示を守って、きちんと飲み続けてください。



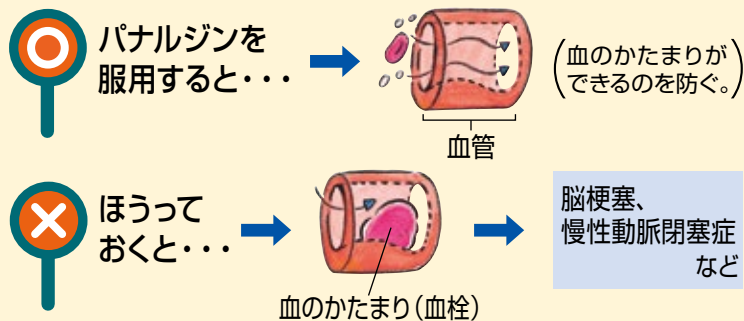
- *1 肝障害：肝臓の機能が低下する病気です。眼や皮膚が黄色くなる(黄疸)ことがあり、まれに重い食欲不振、疲労感、脱力感等があらわれることがあります。
- *2 無顆粒球症：白血球のうち、細菌から体を防御する働きをもつ顆粒球が減少する病気です。顆粒球の減少により細菌に感染しやすくなり、まれに肺炎等の重い感染症になることがあります。
- *3 血栓性血小板減少性紫斑病：血管の中で小さい血栓がたくさんできて、皮下出血(紫斑)や意識障害などの精神・神経症状、発熱、血小板の減少、腎臓の障害を起こす病気です。
- *4 中毒性表皮壊死融解症：全身が広範囲にわたり赤くなり、全身の10%以上にやけどのような水ぶくれ、皮膚のはがれ、ただれなどが認められ、高熱(38℃以上)、皮膚や口のできるぶつぶつ、目が赤くなるなどの症状を伴う重症の皮膚障害です。

医師または薬剤師への連絡先



パナルジンを飲まれる方へ

このお薬は血のかたまりができるのを防ぎます。



血管の中で血のかたまりがつかると脳梗塞、慢性動脈閉塞症などにつながります。

お薬を飲みはじめてから2ヵ月以内に重い副作用がごくまれに起こることが知られていますので、最初の2ヵ月間は2週間毎に血液検査を行います。必ず来院してください。

安心して治療を受けていただくために、裏面もお読みください。

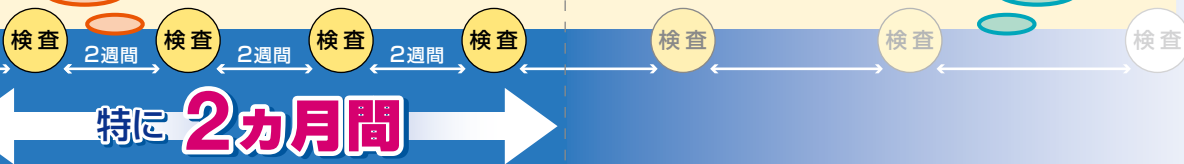
サノフィ株式会社

飲みはじめてから2ヵ月までの方へ

このお薬は、「肝障害*1」、「無顆粒球症*2」、「血栓性血小板減少性紫斑病*3」、「中毒性表皮壊死融解症*4」などの重い副作用がお薬を飲みはじめてから2ヵ月以内にごくまれに起こることが知られています。*：解説は裏面をご覧ください

飲みはじめてから2ヵ月間は2週間毎に血液検査を行いますので必ず来院してください。

血液検査を行わないと、副作用の発見がおくれ、より重い副作用になるおそれがあります。



● 歯科や他の病院にかかるときは…

パナルジンを飲んでいることを医師または薬剤師に必ず伝えてください。

いつもと違う下記のような症状に気がついたら、すぐに医師に連絡してください。

- ・熱が出る(37℃以上)
- ・のどが痛む ・ぶつぶつがでる
- ・鼻や歯ぐきから出血する
- ・便が茶色っぽくなる、血が混じる



- ・あざがでる(紫色・赤色)
- ・皮膚や眼が黄色くなる
- ・皮膚の広い範囲が赤くなる
- ・くちびるがただれる



- ・食欲がなくなる
- ・意識が低下する(うとうとする)
- ・強い疲労感を感じる
- ・眼が充血する



2ヵ月以上飲まれている方へ

パナルジンを飲みはじめてから2ヵ月を過ぎても、重い副作用が起こる可能性はあります。早期発見のために定期的に血液検査を行いますので、来院してください。



たに折り